



一般財団法人

つわの学びみらい

令和3・4年度活動報告

まち全体が
学びの場

(一財)つわの学びみらいには、多様な背景や経験、ネットワークを持つメンバーが所属し、教育を軸に「町営英語塾HAN-KOH」「教育魅力化」「まちづくり」の3つの活動を展開しています。

これらの活動を通して、津和野町で成長する子どもたちの経験や体験・出会い・感動などの「学びの場」を創出しています。そしてその「学びの場」に関わることで、おとなの学びにつながると考えています。

0歳児からのひとづくりプログラム 「大人になっても自ら学び続ける」ひと

「0歳児からのひとづくりプログラム」のスローガンにもなっている
津和野町の未来を担う人材像です。

私たちはこの地域総ぐるみによるひとづくりを持続的に体現し、
学び続ける・問い続ける・変わり続ける町であるために
教育に新たな視点や取り組みを提案し、
現場の先生方とともに、日々活動に取り組んでいます。

「0歳児からのひとづくりプログラム」とは

津和野町教育ビジョンの基本理念に基づき、0歳児から教育的視点を持った各種施策を行うとともに、保育施設・小学校・中学校・高等学校の校種の壁を超え、系統性のある教育体制の構築を図ることを目的として平成30年3月に町が策定。教育委員会や保育士、学校教員、教育魅力化コーディネーター等様々な関係者が関わって作成されました。



一般財団法人つわの学びみらい
代表理事 宮本善行

「0歳児からのひとづくりプログラム」をご存じですか。町が5年前に策定したものです。名前は最近よく耳にするが中身は？が本音ではないでしょうか。目指しているのは、ひとづくりからまちづくりです。わたしたちはその実現のために、プログラムを動かす実働部隊として設立されました。町の変化が、持続可能な津和野にとって必須です。どんな変化にも、誰かが踏み出した「はじめの一步」があります。その変化の第一歩を踏み出す人材の育成を担っています。

町の教育魅力化の流れ

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 平成25年度 | 高校魅力化コーディネーター配置 |
| 平成26年度 | 町営英語塾「HAN-KOH」開塾 |
| 平成29年度 | 「0歳児からのひとづくりプログラム」策定 |
| 平成30年度 | 小中学校へ教育魅力化コーディネーター配置 |
| 令和2年度 | 保小連携コーディネーター・幼児教育コーディネーター配置 |
| | 津和野町100%出資により「一般財団法人つわの学びみらい」設立 |

令和3・4年度の活動報告

「0歳児からのひとつづくりプログラム」を通して育てたい3つの力

- ①対話する力 ②課題を見抜く力 ③行動する力・創造する力

この3つの力を育てるために、各発達期に合った活動を展開してきました。

町営英語塾HAN-KOH

自ら学び、自らの可能性を広げる

津和野町で学び成長する生徒たちの「自ら学ぶ力」を育てるため、平成26年に設立されました。英語を軸とした活動を展開し、町内の中学生と高校生が通っています。生徒の学習支援はもちろん、英検や留学のサポート、生徒の居場所づくり、外国の文化に触れられるイベントなども開催。中学校で英語の授業サポートや、小学生向けのイベントなども行い、少しずつ、でも確実に成長していく子どもたちの姿に、日々刺激とエネルギーをもらっています。

高校生向け講座



津和野高校生 沼田 理貴さん

HAN-KOHは学校の授業や他の塾の授業とは違い、楽しく詳しく教えてもらって助かっています。

英語を中心とした多彩な講座を展開

英語関連の講座に加えて、「数学講座」や「AO・推薦講座」、異文化を楽しく学べる「地球の遊び方」など英語以外の講座も開設しました。生徒の要望に沿って、柔軟な対応を心がけています。

HAN-KOH

HAN-KOHは勉強に集中でき、講師も優しく、空席時にはおにぎりもあり、いい環境で学習できました。

津和野中学校卒業生 原田 友暉さん

中学生向け講座



HAN-KOH

学習もリラックスもできる居場所

学校の英語の授業の定着を目指した反復学習を実施。生徒が勉強できる環境や、リラックスしてつるがる居場所としての役割も担っています。

日原にもHAN-KOHの教室があるのでとても助かっています!

日原中学校卒業生 佐々木 希彩さん

英検対策講座



HAN-KOH

一人ひとりに寄り添った個別指導

「英語実用技能検定(通称:英検)」の受験を希望する中高生を対象に講座を開設。個別指導で、受講生が各自のペースで進め、その後解説や英作文添削をするという形式で実施しました。

R3・4年度の合格実績
 中学生 準2級:1名/3級:5名/4級:8名/5級:3名
 高校生 準1級:1名/2級:4名/準2級:6名/3級:1名

津和野高校生 川瀬 ありさん

問題を効率的に解く方法を丁寧に教えて頂きました。繰り返しの面接指導にもお世話になりました!

地域や学校と連携した英語教育



HAN-KOH

英語が使える楽しさを伝えたい

放課後子ども教室(小学生対象)で、英語に楽しく触れられる講座を実施。中学校では英語の授業に入り、先生方のサポートを行いました。また、小学6年生を対象に、中学英語の先取り講座も行いました。

定期的に授業に入ってくれるので、生徒も楽しみやすく質問もしやすいようです。

津和野中学校 松本 雅子先生



教育魅力化コーディネーター

0歳児からのひとつづくり

教育魅力化コーディネーターは、学校と地域との関わりをつくる活動をしています。そして、保育園や学校といった校種を超えたつながりを創出することで、既存の教育現場に新たな視点・価値をもたらし、変化を促してきました。行政の関係部局をはじめ、町内保育園、小・中・高校と協力・協働し、「0歳児からのひとつづくりプログラム」における「たての連携」を貫く役割を担っています。

保育園と小学校の連携



やまのこども園 うしのしっぽ園長 京村 まゆみ先生

幼児期の育ちを重視し、そこに積み重ねるイメージに劇的に変わりつつある、津和野町の保育園と小学校の連携! 期待大です!



架け橋プログラム事業



保育園~小学校

スムーズに小学校での学びへとステップアップできるように

R4年度より、文科省事業「幼保小の架け橋プログラム調査研究事業」に選ばれ、事業を展開中。架け橋期(5歳児から小学校1年生の2年間)の教育を対象に、日原小学校区をモデル地域に事業を進めています。町内全地域で架け橋プログラムが実施できる体制づくりに奔走しています。

3園の先生方と一緒に取り組む事が増え、保育園での学びを実感することができています。園での学びが土台として1年生に繋げていけるよう、本事業に取り組んでいます。

日原小学校校長 松本 徹先生

「総合的な学習の時間」の支援



小中学校

自身の興味関心に沿った地域・まちとの関わり方を模索

各学年の先生方に伴走しながら、小中学校の「総合的な学習の時間」の計画から授業設計までを実施。高津川の学習では地域の専門家を招聘して一緒に学習をしたり、職業体験では、多種多様な業種の体験ができるよう町民の方々と学校をつなぎました。

日原小学校 大場 由紀子先生

教育魅力化コーディネーターとの連携によって、地域の様々な専門性を持つ方の協力を得ることができ、子どもたちの多様な学びが実現できています。



(公財)しまね文化振興財団 (いわみ芸術劇場) 福岡 一さん

「地域」について教育・まちづくり分野と芸術分野が共に考え、活動しています。

町民

非日常的な体験を通して、新たな日常をつくる

津和野町の住民がアーティストとともに表現活動を行い、そこで得た新たな感覚や体験を日常の一部として取り込むことで、「新たな日常」を構築することを目指します。令和4年度は計4回のワークショップを実施し、地域や個人の間にある「境界」について、時には身体を動かし、時には対話をする事で思考を巡らせました。

イワミ・アート・ラボラトリー



大変な面もありますが、若いエネルギーをもらったり、生徒の成長を間近に見ることができたりすることで、普段の生活に張り合いが生まれています。

下宿大家 谷口 志津子さん



まちづくり

学びの場を軸としたまちづくりに挑戦

「まち全体が学びの場」となるよう、多様な組織・人と関わり、協働することで、かけ算のように学びの機会を増やすことに挑戦中です。その関わりは、各学校だけでなく、自治体や関係機関はもちろんのこと、企業や団体、大学などさまざまです。この「よこの連携」の仕組み=コンソーシアムの構築を通して、教育が津和野町における新たな経済・地域活動の発展及び活性化につながることに挑戦しています。

中学校

社会との様々な関わり方を知り、自身の関わり方(生き方)を考える

「まち全体が学びの場」を体現するべく、教室や学校の外に学びを開いていくことを意識して取り組んでいます。「ツワトーク」という授業では、中学生と地域の方々が一対一で自分たちの人生について対話。地域と繋がり、進路選択の一助にもなる場となりました。

先生とは違う大人との会話が、生徒にとっては刺激的です!

津和野中学校 吉田 拓先生

地域とのつながり創出



生徒募集活動



津和野高校

この10年間で25都府県・累計188名(※注1)が島根県外から津和野高校に入学

コロナ禍で制限のある中での募集活動となりましたが、オープンスクールやオンラインイベント等を実施しました。

R4年度入学者実績 54名(内訳:県内34名/県外20名)
 R5年度入学者実績 73名(内訳:県内45名/県外28名)
 *定員は80名

※注1:H25年度~R4年度の新入生数(5月時点)より

津和野高校生 田中 百花さん

多種多様な地域からやって来る中学生に、津和野や津和野高校の魅力が伝えることができました。伝える側となったことで視野が広がりました。

「総合的な探究の時間」の支援



2年生のプロジェクト活動では、源氏巻のパッケージ作成、津和野を表現した服作りなど、津和野ならではの活動をした生徒もたくさんいました。

津和野高校 吉田 みずほ先生

まちの方と料理をしたり、対話を重ねていく中でコミュニケーション能力が高まりました。

津和野高校生 村上 千夏さん

おとな

おとなもまちと関わり、成長の循環を

子育てしている親同士が気軽に繋がる場がほしい、というお母さんたちの声からうまれました。町民センターラウンジルームにて毎週火曜日に活動しています。服の交換会を開催したり、子どもの食について講師を招いたり、干し柿づくりなどを実施しました。コーヒーを飲みながらゆっくり話せる場所でもあります。

つわの子連れSTUDY



子連れ同士で気軽に集えることがとても嬉しいです。自分たちでやりたい企画を実施することで横の繋がりができていくのも魅力のひとつです。

三児の母 太田 奈菜美さん

暮らし

暮らしを通して、たくさんの出会い・感動・体験を

町と協力して下宿や町営宿泊施設の整備を進めました。

R3年度 下宿7軒/18名入居
 R4年度 下宿7軒/15名入居(※注2)
 町営宿泊施設入居開始(定員16名) 8名入居(※注3)

下宿生活を通して、地域に根ざした暮らしができています。これからも高校生と地域との関わりを増やしていきます。

※注2: R3・4年度とも4月末時点 ※注3: R4.11月開所/R4年度3月末時点

下宿事業の展開



津和野のまちに起こっているたくさんの変化。
少しずつ、でも確実に「学びの場」はまち全体に広がっています。
「大人になっても自ら学び続ける」みなさんに、お話をうかがいました。

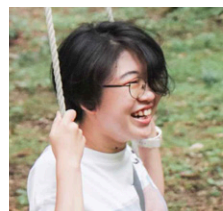


思うは招こう会 会長
和菓子処三松堂本店 店長

あべりゅうたろう
阿部 龍太郎 さん

地元の若者達と一緒に学校教育の場で、講演会やワークショップを企画して、学びの楽しさを広めています。活動していると「だれかの成長が、だれかの成長を生む」素晴らしい場面に出会う事があります。

次の世代のことを考え、成長が伝播していく為にも、私たちにも変化が必要です。資金調達や情報発信も、バラバラにやっていたはいけない。他のコミュニティとも積極的に繋がりながら、共に創る精神で前進していきます。「数は力」ですから。これからも未来は面白くなると信じて、仲間と共に活動を続けて参ります。

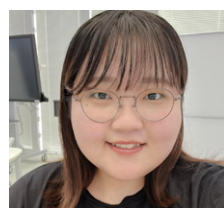


関西大学 文学部教育文化専修
(津和野高校令和2年度卒業生)

いけだしおり
池田 詩織 さん

津和野で過ごした高校時代は、関わっている大人に応援されている、という感覚がありました。津和野で学んだことは、自分の「やりたい」に向けてどんな心構えで、何を行動をするかという「考動力」です。

今は関西の大学に通っていますが、離れていても津和野に関わり続けたいと思い、津和野高校同窓会関西支部の企画に参加しています。同窓会関西支部では、同じように津和野を離れていても、地元に関わりたいと考えている先輩が多くいます。その先輩方に、津和野高校の変化や、高校が手助けしてほしいことを伝える活動をしています。

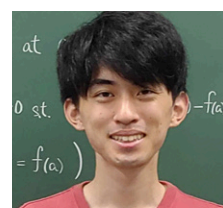


島根県立大学 地域政策学部
地域づくりコース
(津和野高校令和2年度卒業生)

しみず みか
清水 美夏 さん

自宅から一番近い高校であるという理由で、津和野高校への進学を決めました。入学当初は人見知りも激しく、意欲的に地域活動をしている同級生を眺めているだけでしたが、部活動やマイプロジェクトを通じて、人と関わることの楽しさ・あたたかさを学びました。

現在は、大学のゼミ活動で津和野町を拠点に活動しています。今後は、ゼミ活動を通じて歴史的な観点を身につけ、歴史的資源の豊富な津和野町の地域づくりの力になりたいと考えています。



九州大学 理学部数学科
(津和野高校平成31年度卒業生)

まさだ もととき
政田 智秋 さん

「しまね留学」で津和野高校に出会い、「生徒のやりたいことを応援する」というメッセージが進学の決め手になりました。入学後はコーディネーターさんの紹介もあり、高校の内外で地域の大人の方と関わる機会が多くありました。そうした生活を送っていく中で、津和野への愛着が強くなりました。

町営英語塾HAN-KOHで出会った本がきっかけで、数学科への進学を志しました。現在は、大学で数学を学びながら、江戸時代に津和野藩士・桑本正明が研究した図形について調べています。

❖ // つわの学びサポーターズ募集中! // ❖

津和野町で学び、成長する子どもたちが語る「大きな夢」。その夢を叶えるための「はじめの一歩」にご協力くださるサポーターを募集しています。毎月一定額(500円~)を継続的にご寄付いただき、津和野町の子どもたちが地域に出て学ぶ際に、活用させていただきます。

サポーターになっていただいた方には、私たちの取り組みや子どもたちの状況についてのご報告等、ささやかですが特典を用意しております。

詳しくはホームページをご覧ください。



支援ページ

